

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策I-6-2
航空路線の維持・充実

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 交通対策課長 小笠原 唯真 電話番号 0852-22-5898

事務事業の名称	国際チャーター便誘致事業	
目的	(1) 対象	近隣諸国への渡航希望のある県民
	(2) 意図	国際チャーター便等の運航に対して支援し、交流人口を増やすことにより定期便の開設を目指す。定期便の開設は、アジアを中心とした近隣諸国への渡航を容易にし、県民の利便性は向上する。
事業概要	将来の国際定期便の開設に必要な需要を創出するために、国際チャーター便の運航に対する助成や、県内宿泊する場合に海外航空会社等へ経費の一部を助成する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 インバウンド国際チャーター便運航便数	目標値	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	回
		取組目標値						
	式・定義 運航便数	実績値	1.0	2.0	2.0			%
		達成率	14.3	28.6	28.6	-	-	
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						%
		達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	1,525	4,000
うち一般財源 (千円)	1,525	4,000

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・インバウンド国際チャーター便運航便数は、平成25年度から制度を開設し助成しているが、目標値に達していない。
- ・平成29年度については、台湾から2回のインバウンド国際チャーター便が運航し、ハワイへ1回のアウトバウンド国際チャーター便が運航。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

制度開設して数年経過し、台湾からのチャーター便は、毎年実施されており、平成30年度も実施が予定されている。ツアーの定着が見られる。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・国際チャーター便の運航が少ない。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・海外の航空会社や旅行会社において、県内空港のことや支援制度のことなどの周知が十分に行われていない。

③原因を解消するための「課題」

- ・海外の航空会社や旅行会社に対し、直接的説明を行うなど、積極的な国際チャーター便の誘致が必要。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・海外観光の誘致を担当する部局と連携し、海外の航空会社や旅行会社に対して国際チャーター便運航の積極的な誘致を行い、制度周知を図る。